



JICA (ER) 第 9-12001 号  
平成 20 年 9 月 12 日

環境社会配慮審査会  
委員長 村山 武彦 殿

独立行政法人 国際協力機構  
理事 黒木 雅文



環境社会配慮審査会への諮問について

JICA 環境社会配慮ガイドライン 2.4 の規定に基づき下記事項につき諮問いたします。

#### 記

#### 1. 件名

諮問第 5 号

「ベトナム国ホアラック・ハイテクパークフィージビリティ修正調査」

#### 2. 諮問事項

ベトナム国ホアラック・ハイテクパークフィージビリティ修正調査に係る  
環境社会配慮におけるスコーピング案

以 上

平成20年11月14日

独立行政法人 国際協力機構  
理事 黒木 雅文 殿

環境社会配慮審査会  
委員長 村山 武彦

諮問第5号に対する答申について

環境社会配慮ガイドライン2.4の規定に基づき、諮問第5号「ベトナム国ホア  
ラック・ハイテクパークフィージビリティ修正調査」（開発調査）のスコーピ  
ング案について、別紙のとおり答申いたします。

コメントの種類に応じて、答申内容を協力事業に反映するよう、お取り計ら  
い下さい。

以上

「ベトナム国ホアラック・ハイテクパークフィージビリティ修正調査」答申

開発事業計画

1. F/Sの対象となる大規模な施設(廃棄物施設、下水道施設、水道施設等)については、産業立地方針、事業計画の整備方針、及び事業概要(処理方式、計画規模等)を報告書に記載すべきである。
2. F/Sの対象となるホアラックハイテクパーク(HHTTP)開発事業の計画諸元(計画人口、開発面積、計画交通量等)を明示すべきである。

EIA調査

3. 人口密度の高い土地を計画から外すことや建設の時期を変えること等の多様な観点から代替案を検討すべきである。
4. これまでのEIA承認過程およびその実施体制を確認すべきである。
5. EIAでは調査項目や内容だけでなく具体的な評価手法や評価基準についても、検討・提案することが望ましい。
6. 本プロジェクトの優先インフラ事業におけるEIAの手順を明確にし、先方政府と確認することが望ましい。

土地収用・補償制度

7. HHTTP開発に関わる土地収用が遅れている原因について明らかにすべきである。
8. 本年8月までに745haの土地収用が行われているが、実際に土地収用・移転対象となった世帯数・人数と補償内容について確認すべきである。
9. ステークホルダー協議等により、プロジェクトによる被影響者の現状を確認し対策を検討すべきである。
10. 農業従事者に関し、地権者でない農業従事者(小作農等)の人数等の現状について調査すべきである。また、移転に関する意向についても確認すべきである。
11. 補償金の算定基準と支払時期・方法について確認し、可能であればその情報が公開されることが望ましい。

社会環境・自然環境への影響

12. 環境社会配慮確認のための国際協力銀行(JBIC)ガイドラインおよびチェックリストを踏まえ影響予測項目を決定しているが、JBICガイドラインに含まれていない項目に関してはJICAガイドラインを用いるべきである。
13. 既存資料の確認、現地踏査、及び関係機関へのヒアリングにより調査対象地域内の動物相・植物相を調査すべきである。

14. HHTP 計画地域内だけでなく、周辺地域の住民やテック川下流の住民に対する影響（漁業、生活等）についても検討することが望ましい。

#### 温室効果ガスへの対応

15. 自動車交通の増加等に伴い、温室効果ガスの排出量増加が考えられるため、「温室効果ガス」を環境影響検討項目に追加し可能な限り定量化することが望ましい。